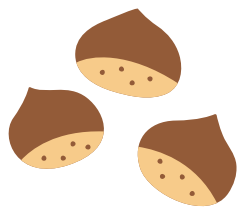


11月9日～11月15日



秋の火災予防運動



秋の火災予防運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

1 地震火災への対策

大規模地震による火災の過半数は電気が原因!!

大規模地震時には、住民等が避難を要することにより、火災の発見、通報、初期段階での消火が遅れ、また、災害が同時多発的に発生することにより、消防力が不足し、さらには水道管の破断等により消防水利が確保できないなど、消火活動が困難な状況となることが考えられます。特に木造密集市街地等では大規模な火災につながるおそれがあります。平成23年に発生した東日本大震災では、108件の地震火災のうち、電気火災が58件（約5割強）発生しています。



電気火災を防ぐ方法は??

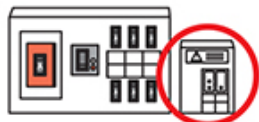
地震時の電気火災を防ぐためには、避難時にブレーカーを落とすなど電気を遮断することが有効ですが、大規模地震における避難の際は緊迫した状況であり、自宅のブレーカーを自ら落とすという行動は非常に困難です。また、外出時に地震が発生した際などは、電気を遮断することはできません。

そこで、非常に効果的な装置として「感震ブレーカー」があげられます。感震ブレーカーとは、大規模地震が発生した際に、一定値以上の揺れを感知すると、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に遮断する装置であり、転倒した電気ストーブや断線したコードへの電力供給を自動的に停止させるため、地震時の電気火災対策として非常に効果的です。

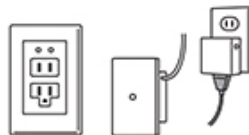
感震ブレーカー



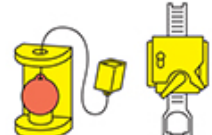
分電盤タイプ
(内蔵型)



分電盤タイプ
(後付型)



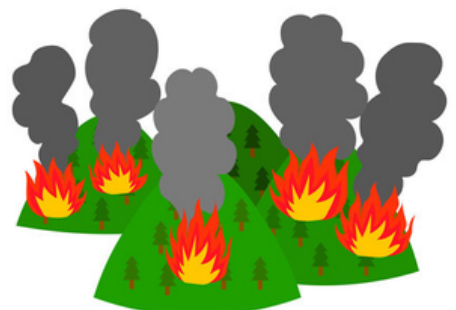
コンセントタイプ



簡易タイプ

2 林野火災への対策

- 林野周辺の住民の方や入山者の防火意識高揚を図り、火気の使用には十分に注意する。
- 火災に関する警報等の発令中における火の使用制限の徹底を図る。
- 林野関係者等による林野の適切な管理と監視活動を実施する。



3 リチウムイオン蓄電池からの火災に注意

「リチウムイオン蓄電池」とは??

リチウムイオン蓄電池は、繰り返し充電、放電できる電池のことで、二次電池の一つです。この電池は、主に小型で大量の電力を必要とする製品（モバイルバッテリー、小型ゲーム機など）に使用され、他の二次電池と比べて高容量、高出力、軽量という特徴があります。



「リチウムイオン蓄電池」火災のメカニズムとは??

リチウムイオン蓄電池は、電解液として可燃性の有機溶剤を使用しているため、衝撃などにより内部の正極板と負極板が短絡し、急激に加熱後、揮発した有機溶剤に着火して出火に至ります。



「リチウムイオン蓄電池」火災を防ぐためのポイントは!

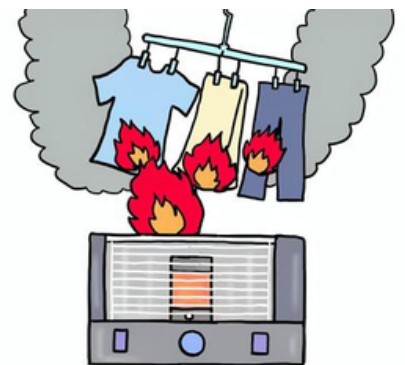
- 取扱説明書どおりに使用し、圧力や衝撃を与えない。
- 充電器やバッテリーは、付属品やメーカー指定のものを使用する。
- 高温や水に触れる場所を避けて、適切に保管する。膨張、異音、異臭などの異常がある場合は使用しない。
- P S E マーク（安全基準の検査に合格した電気製品に表示されるマーク）が付いていて、製造・販売元が明示されている製品を使用する。
- 一般ごみに混ぜるとごみ収集車の火災につながるため、絶対に他のごみに混ぜない。処分する際は、メーカーや販売店の製品回収サービスを利用するか、JBRC協力店に置いてある「リサイクルBOX」、もしくは「使用済小型家電回収BOX」に入れる。

※JBRC協力店については、「一般社団法人JBRC『協力店・協力自治体』」を検索



4 暖房器具による火災に注意

寒さの厳しくなる冬場には、石油ストーブや電気ストーブ等の暖房器具を使用する機会が増えます。その際、暖房器具の使用方法を誤ったり、適切な管理を行わない場合、重大な火災に繋がるおそれがあります。



暖房器具による火災を防ぐポイントは...

- 暖房器具の上や近くで洗濯物を乾かさない。
- カーテンなどの燃えやすいものや、物が落下するおそれのある場所で使用しない。
- 石油ストーブへの燃料補給は、完全に消火してから行い、燃料の種類と量を確認する。

お問合せ

嶺北消防署	〒919-0413	坂井市春江町随応寺17-10	TEL0776-51-0911
嶺北あわら消防署	〒919-0633	あわら市花乃杜五丁目2-3	TEL0776-73-0119
嶺北丸岡消防署	〒910-0301	坂井市丸岡町愛宕1-1	TEL0776-66-0119
嶺北三国消防署	〒913-0042	坂井市三国町中央一丁目1-36	TEL0776-82-6119



あわら消防署からのお知らせです

地震火災を防ぐポイント

地震火災対策きちんと出来ていますか？



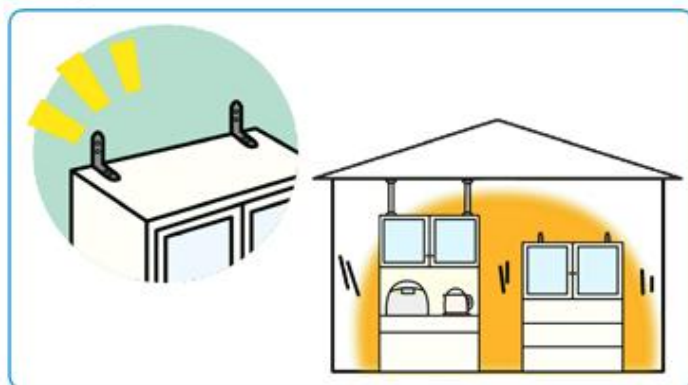
事前の対策



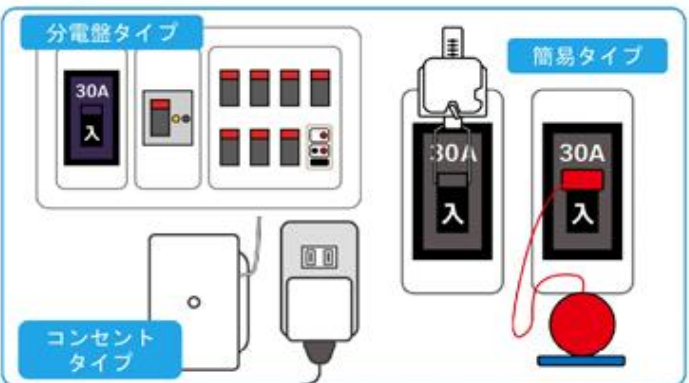
住まいの耐震性を確保しましょう



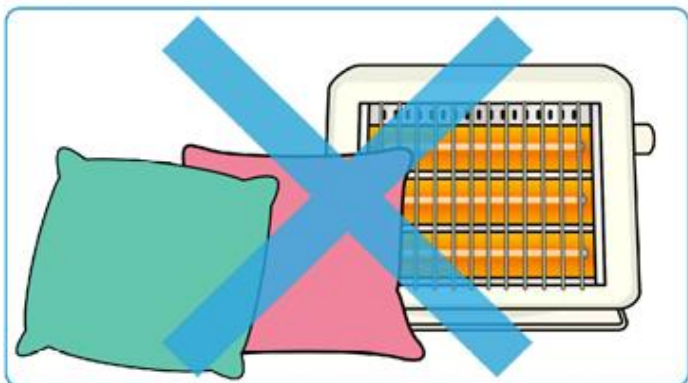
家具等の転倒防止対策（固定）を行いましょう



感震ブレーカーを設置しましょう



ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かないようにしましょう



住宅用消火器等を設置し使用方法について確認しましょう



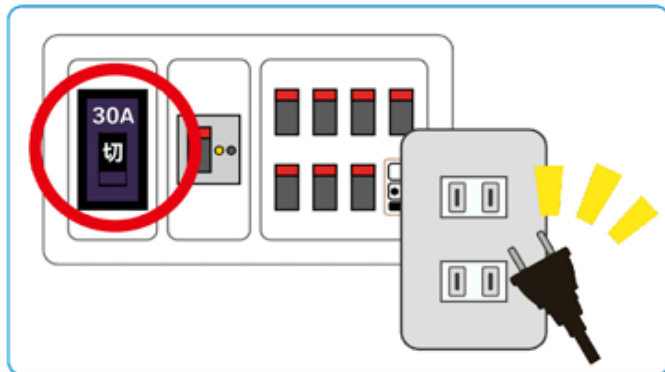
住宅用火災警報器を設置しましょう



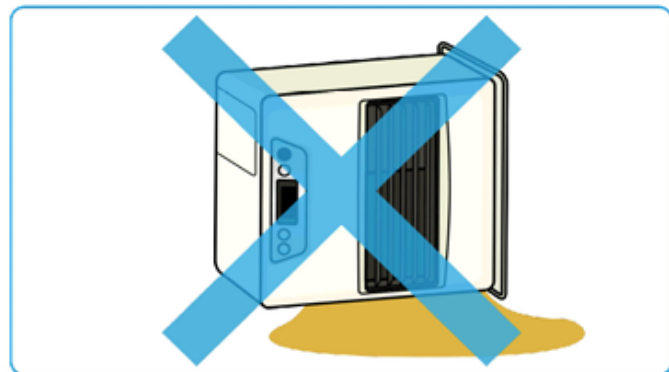
※交換の際は連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器へ交換しましょう。
※設置場所については市町村条例で定められています。

地震直後の行動

- ☐ 停電中は電気器具のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜きましょう
避難するときはブレーカーを落としましょう

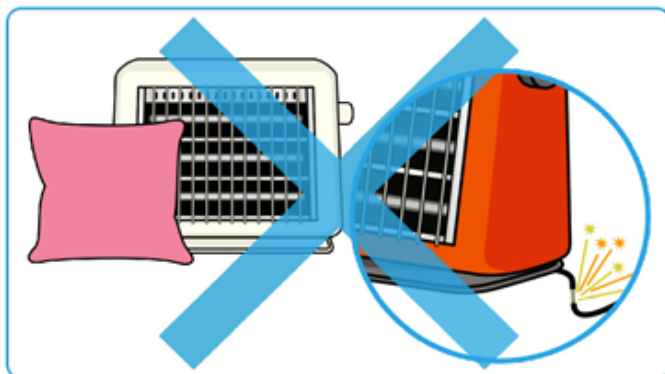


- ☐ 石油ストーブや石油ファンヒーターからの油漏れの有無を確認しましょう

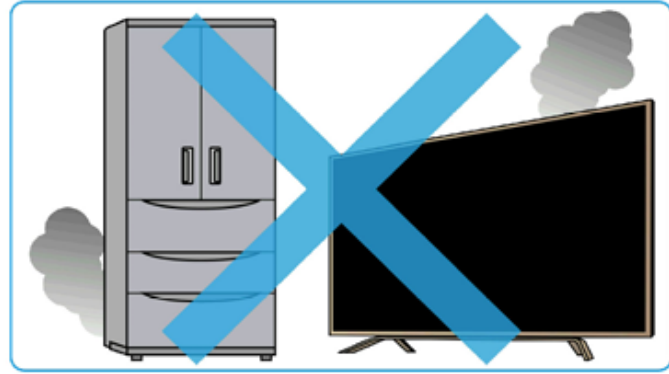


地震発生からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）

- ☐ ガス機器、電気器具及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認しましょう



- ☐ 再通电後は、しばらく電気器具に異常がないか注意を払いましょう（煙、におい）



日頃からの対策

- ☐ 消防団や自主防災組織等へ参加しましょう



- ☐ 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図りましょう



お問い合わせ先
嶺北あわら消防署 警備課
TEL：73-0119